

令和4年度(2022年度) 学校評価(自己評価・学校関係者評価)

今年度の学校としての取組について、どの程度達成されているのか、4段階で評価してください。

4：大変満足 3：おおよそ満足 2：やや不十分 1：不十分

分掌・年次	重点課題	実践内容	自己評価	ご意見	学校関係者評価
総務部	○本校の教育活動を地域を含め広く発信するために、広報活動の一層の充実をめぐる。	・学校だよりの発行 ・ホームページの保守管理・充実 ・新聞等への取材依頼	3.2	・北海道新聞の取材(記事)が少ないので取組みを発信すること。	3.2
	○保護者との連携を密にし、PTA行事の活性化に努める。	・保護者と学校との連絡調整	3.5	・コロナ禍ではあるが、保護者と学校のつながりを保ってほしい。	3.4
	○学校保健計画に即した健康と安全に対しての指導を適切に行う。	・薬物乱用防止教室、性教育講演会の企画運営 ・特別支援委員会業務 ・校内研修会(防災、救急)の企画	3.2		3.2
教務部	○授業の指導方針の明確化・共通化を図り、生徒が主体的に学習に取り組む態度の涵養を図る。	・校内研修、授業参観の実施	3		3.2
	○評価方法についての研修を充実させ、適切な評価の方法と生徒の次の学びにつながる評価の伝え方を検討する。	・学習成績の評価・評定	2.9	・評価が生徒のモチベーションにつながるものになってほしい。	3.2
	○探究型単位制の教育課程の研究と実践を進める。	・教育課程の作成と研究・実施	2.9		3.3
生徒指導部	○基本的生活習慣の確立を図る。	・年次との連携	2.7	・町中で見る生徒の印象はよい。	3.4
	○生徒の主体的な活動を支援する。	・生徒会行事の企画、運営、渉外、調整	2.5	・コロナ禍ではあるが、生徒なりに工夫しているのがうかがえる。	3.4
	○安心・安全の確保の充実を図る。	・いじめアンケート、ネットパトロールの実施	3	・いじめを見逃さないように願います。	3.2
進路指導部	○探究活動との連携と進路指導実践の充実を図る。	・探究活動の成果を生かす進路指導計画・実施	2.8	・コロナ終息後の体験活動に期待する。 ・活動の成果が進路に出ているように思う。	3.5
	○進学講習等の計画的、組織的実践に努める。	・Classi等の進路支援ツールの活用	2.7	・コロナ終息後の体験活動に期待する。	3.2
探究部	○探究的活動を通して、自己有用感と自己指導能力(自己調整力)を育成する。	・総合的な探究の時間の企画・ガイダンス・運営・評価	2.9	・コロナ終息後の体験活動に期待する。 ・ガイダンスが重要だと思う。イメージがつかめる内容を希望する。	3.5
	○先進的な事例等の情報の収集と、研修の充実を図る。	・中学校訪問や学校視察訪問	3.2	・コロナ終息後の体験活動に期待する。	3.2
1年次	○学校生活・学習に意欲的でまとまりのある生徒集団の育成	・教育課程に関すること	2.9		3.2
	○自己理解と適切な進路目標の設定	・講習、模試に関すること ・進路指導部との連携	3	・1年次で進路をあきらめることのないように願います。	3.4
2年次	○授業・総合的な探究の時間等を充実させ、生徒の自主的な活動の支援	・教育課程に関すること	3		3.2
	○自己理解と適切な進路目標の設定	・講習、模試に関すること ・進路指導部との連携	3.2		3.2
3年次	○学校生活の中で充実感を求めるとともに、自ら行動して問題解決できる生徒の育成	・生徒会行事に関すること	2.9	・行事と学業をメリハリつけて実施できればよい。	3.2
	○個々に応じた進路実現	・講習、模試に関すること ・進路指導部との連携	3.1	・希望する進路実現ができるようフォローしてほしい。	3.4

・未来大学との俳句とデザイン展など、俳句表現(＝自己表現＝自己を客観的にとらえる力)が生徒と地域を結ぶ表発につながり大いに評価している。
・学校説明会において他校が映像中心であるのに対し説明中心で中学生の評価が低いと聞く。